

## 地震時地盤災害推計システムの推計結果 【胆振地方中東部を震源とする地震】

2018年09月06日03時08分に発生した地震に関して、推計した斜面災害及び液状化の発生可能性箇所を添付図のとおり報告します。

斜面災害発生の可能性がある箇所の面積	約	1 3 0 0	km <sup>2</sup>
液状化発生の可能性がある箇所の面積	約	9 6 0	km <sup>2</sup>

具体的な範囲は次ページ以降に図示します。

### (参考) 過去に発生した地震における推計値

発生年	地震名称	斜面災害	液状化
2011年	東北地方太平洋沖地震	9 1 0 0 km <sup>2</sup>	6 5 0 0 km <sup>2</sup>
2016年	熊本地震	2 7 0 0 km <sup>2</sup>	1 4 0 0 km <sup>2</sup>
2018年	北海道胆振東部地震	1 3 0 0 km <sup>2</sup>	9 6 0 km <sup>2</sup>

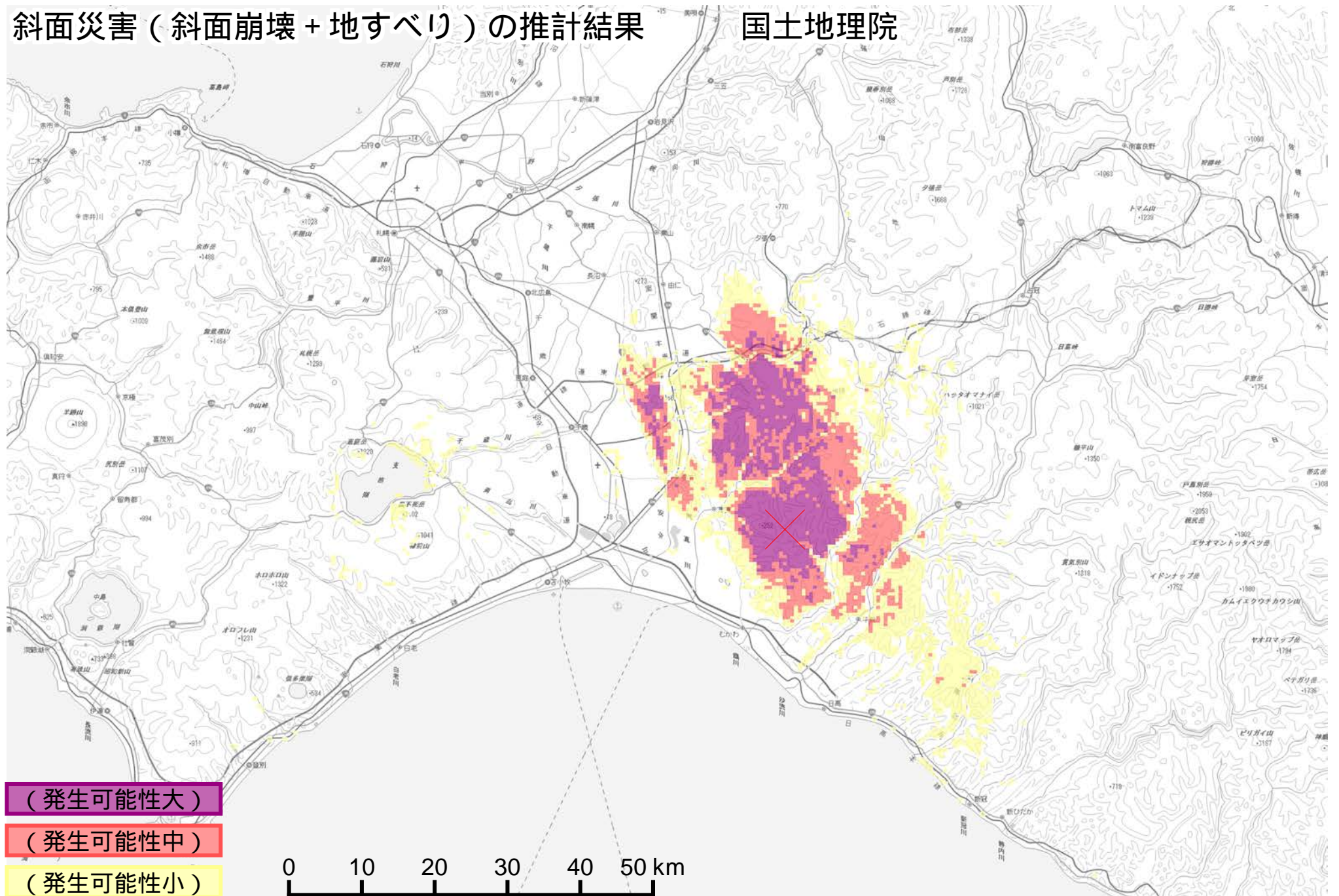
#### 本資料に関する注意点

- ・この推計結果は広域スケールで地盤災害がどのあたりでどの程度集中して発生している可能性があるかを示すものであり、個々の地点の発生の有無や規模をピンポイントで予測するものではありません。
- ・この推計結果は、震度とその場所の地形・地質の性質に基づいて推計しているものです。したがって、色が付いた範囲で必ず地盤災害が発生していることを示しているわけではありません。
- ・推計精度は、これまでの検証では震度6強以上の地震では概ね適切な推計がされていますが、震度6弱ではやや過大に推定される傾向が見られます。
- ・本資料は、被害推定、現地の情報収集や調査の目安としての利用を想定した情報です。

#### 【連絡先】

国土地理院 企画部 防災推進室  
Mail: gsi-bosai@gxb.mlit.go.jp

# 斜面災害（斜面崩壊 + 地すべり）の推計結果 国土地理院



# 液状化発生の推計結果

国土地理院

- (発生可能性大)
- (発生可能性中)
- (発生可能性小)

